



実体経済と経済政策

令和7年4月23日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

これらグローバル経済の真実は、金融経済における実体経済の支配である。それにおいて実体経済が有する強さと健全さを基盤として経済政策は、本来の経済への回帰を提案できると考える。

これらは本来の経済への回帰をマネーゲームから求めるものであり、それらは、経済と社会生活国家運営というサイクルを中心に、金融の在り方を再度考査し、世界経済における新しい枠組みを模索できると考える。

これらは通貨発行と巨大資本、世界金融システムという不可侵の聖域に対して、経済の健全性の回復において世界における新たな対話と枠組みの構築を提案するものである。

これらは政府における経済政策において、実体経済の育成、世界における貿易システムにおける新しい枠組み、次世代社会の育成と経済の健全な関係の構築などを討議できるものである。

これらは明確に理解を求めるとき富を創造するのは、実体経済なのであり、金融経済の突出は明らかにいびつなのである。

これらは必ず国家の健全性は、健全な経済システムとサイクルにおいて実現できるものであり、それらが税制の確立とともに、社会と国家の維持運営を与えるものなのである。

資本主義、自由経済システムなど今日のルールは、富の独占を許容し、それらがグローバル経済の完全な支配を有することは真実なのである。

それら視点から健全な経済の確立を求めることは新たな経済システムの構築を再度討議できるものである。

これらは世界の合意とともに新しい世界の枠組みを提案できるものである。